

## 南信森林管理署におけるニホンジカ対策の取組について ～10年間の「職員によるくくりワナ捕獲」～

中部森林管理局 南信森林管理署

○ 大鹿森林事務所森林官 南坂 節子  
諏訪南森林事務所森林官 竹内 智絵

### 1. 課題を取り上げた背景

南信森林管理署が管轄する伊那谷森林計画区は、ハケ岳、南アルプス地域において、特にニホンジカの生育密度が高い状況にあり、農林業被害及び下層植生の消失等による国土保全や森林生態系への影響が依然として深刻です。また、近年では中央アルプス地域においてもニホンジカの侵入が確認されたことから、生息域の拡大による高山植物への影響など更なる被害が懸念されます。

このような状況の中で、被害防除と積極的な捕獲による個体群管理が重要課題となっています。

### 2. 取組の経過

急激な個体数の増加による深刻な被害状況を受けて、各協議会との連携を図りながら取組を進める一方で、南信森林管理署独自の取組として、平成19年度に職員によるくくりワナによる捕獲を試行的に実施しました。この取組において一定の成果が得られたことから、平成20年度に「国有林・有害獣ワナ捕獲チーム」を設置し、以降本格的に取組を進め、継続してきました。

捕獲の実行にあたっては、職員を対象に毎年度、長野県の鳥獣対策専門員



くくりワナの設置

による講習会を開催し、わな猟に係る法令関係の講義と実技講習を受講して、有害鳥獣捕獲の知識と技術の習得に努めています。

また、くくりワナについては、各協議会、市町村、猟友会への貸出しも行い、地域と連携した個体数調整の取組も進めています。



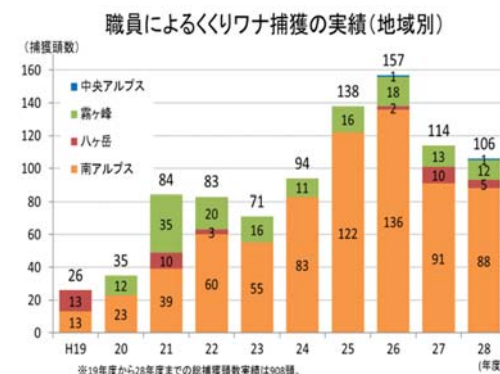
捕獲されたニホンジカ

### 3. 実行結果

過去10年間の年度別捕獲数は、右図のとおりです。

平成26年度が157頭と一番多く、平成28年度までの総捕獲数は908頭です。

また、関係団体等へのくくりワナの貸出し数は1,742基で、平成27年度の捕獲実績は1,561頭となっています。



### 4. 考察

今後も引き続き職員による捕獲と、各協議会等と連携した取組を進めながら、長野県が策定している「第4期ニホンジカ管理」計画における目標個体数へ近づけるための取組を継続していきます。

更には、防鹿柵とくくりワナを組み合わせた効率的な捕獲方法及びカプサイシンによる被害防止効果の検証など、新たな被害防除対策の検討・実践を進めていきたいと考えています。